

使徒信条

わたしは、天地の造り主、全能の父なる神を信じます。

わたしは、そのひとり子、わたしたちの主、イエス・キリストを信じます。主は聖霊によってやどり、処女マリアから生まれ、ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられ、死んで葬られ、陰府にくだり、三日目に死者のうちから復活し、天に昇って、全能の父なる神の右に座しておられます。そこから来て、生きている者と死んでいる者とを審かれます。

わたしは、聖霊を信じます。聖なる公同教会、聖徒の交わり、罪の赦し、からだの復活、永遠のいのちを信じます。アーメン

主の祈り

天にまします我らの父よ、

願わくは御名をあがめさせたまえ。

御国をきたらせたまえ。

御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧をきょうも与えたまえ。

我らに罪を犯す者を、我らが赦すごとく、

我らの罪をも赦したまえ。

我らを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。

国とちからと栄とは、

限りなく汝のものなればなり。アーメン

初めて礼拝に参加なさる方への御案内

- ・教会の礼拝は、信者だけのものではありません。どなたでも、いつでも参加できます。
- ・礼拝は、「見えない神と対面するとき」です。砕かれた自分を携えて礼拝に臨みましょう。
- ・礼拝では、イエス・キリストを証言する聖書を読み、その聖書を説き明かす説教が行なわれます。イエス・キリストの御言葉と生きる姿を通して、私たち自身の生きる道を尋ねましょう。
- ・礼拝では、讃美歌を歌い、祈ります。これらは神への信頼を表し、また神の恵みに応えて感謝を捧げるものです。
- ・礼拝では、自分自身をささげて神に従う献身のしるしとして、献金を捧げます。今は、献身のしるしとして捧げる事は難しいと感じる方が、神への感謝のしるしとして捧げることもまた礼拝に相応しいことです。人の目や金額の大小を思わず、心のままにお捧げ下さることは、神と人へと仕えて生きる新しい歩みの第一歩となるはずです。



←礼拝ライブはフェイスブックから
週報はホームページにも掲載→



礼 拝 毎日曜午前10:10より
日曜学校 毎日曜午前9:30より
祈り会 毎水曜午前10:30より
午後6:30より

* 牧師との面談を希望される方はご連絡下さ



週 報

2021. 10. 17.

「父よ、時が来ました。あなたの子があなたの栄光を現すようになるために、子に栄光を与えてください。あなたは子にすべての人を支配する権能をお与えになりました。そのために、子はあなたから委ねられた人すべてに、永遠の命を与えることができるのです。永遠の命とは、唯一まことの神であられるあなたと、あなたのお遣わしになったイエス・キリストを知ることです。わたしは、行うようにとあなたが与えてくださった業を成し遂げて、地上であなたの栄光を現しました。父よ、今、御前でわたしに栄光を与えてください。

(ヨハネ17:1~5)

札幌豊平教会

〒062-0906 札幌市豊平区豊平6条3丁目5-15

電話 (011) 811-6838

送金には、郵便局から振替口座をご利用ください。振替: 02790-7-9082

口座名義: 日本キリスト教会札幌豊平教会

メール toyohirachurch@jcom.home.ne.jp

HP <https://www.ccjtoyohira.com/>

北海道中会ホームページ <http://nikki-hokkaido.net/>

2021年10月17日
聖霊降臨日第22主日

No.42

招きの言葉：箴言3：5～7

心を尽くして主に信頼し、自分の分別には頼らず、常に主を覚えて、あなたの道を歩け。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにしてくださる。自分自身を知恵あるものと見るな。主を畏れ、悪を避けよ。

讚美歌 I-545

聖書 使徒言行録13：1～5 (新p237)

祈り

説教 「二人の上に手を置いて」 稲生義裕

讚美歌 I-225

聖餐

讚美歌 I-205 (1,3,4節)

献金

主の祈り

頌栄 I-541

祝祷

アーメン三唱

後奏 (聴いた御言葉と派遣されて行く者としての理想を覚えて、各自黙祷を)

きょうの聖書

- 1 アンティオキアでは、そこの教会にバルナバ、ニゲルと呼ばれるシメオン、キレネ人のルキオ、領主ヘロデと一緒に育ったマナエン、サウロなど、預言する者や教師たちがいた。
- 2 彼らが主を礼拝し、断食していると、聖霊が告げた。「さあ、バルナバとサウロをわたしのために選び出さなさい。わたしが前もって二人に決めておいた仕事に当たらせるために。」
- 3 そこで、彼らは断食して祈り、二人の上に手を置

いて出発させた。

- 4 聖霊によって送り出されたバルナバとサウロは、セレウキアに下り、そこからキプロス島に向け船出し、
- 5 サラミスに着くと、ユダヤ人の諸会堂で神の言葉を告げ知らせた。二人は、ヨハネを助手として連れていた。

《2021度主題》

『他者と共に、他者のために～食でつながる心と命～』
聖書 創世記1：28

神は彼らを祝福して言われた。

「産めよ、増えよ、地に満ちよ。地を従わせよ。海の魚、空の鳥、地の上を這う生き物を全て支配せよ」

本日礼拝後 高校生以上の集い、女性会
今週の集い

- ・18日(月)10:00 おしゃべり手芸サロン(介護予防C)
- ・19日(火)10:30 ニットリフオームG
- ・20日(水)10:00 体力作りの会(介護予防センター)
10:30 祈り会(オンライン併用) /18:30 祈り会
- ・21日(木)10:00～弁当調理
- ・22日(金)9:00 弁当作り(教会前では12:30手渡し)
- ・23日(土)10:00 キリスト教会の歴史(オンライン併用)
13:00 平和憲法を守る豊平区民の会市民対話集会「貧困・差別・女性」冒頭のミニコンサートを音楽委員会が担当します。

今週の牧師の予定(上記以外)

- ・11日(月)10:00 おしゃべり手芸サロン再開立会い
10:30 絵手紙サークル対応
- ・21日(木)10:30 札幌市里親会理事会
- ・22日(金)14:00 来客(アカペラ合唱団)

次主日の予告(2021年10月24日)

礼拝 聖霊降臨日第23主日 (ライブ配信)
聖書 創世記32：23-33 (旧p56)

説教：「足を引きずり“前へ”」河野行秀教師
讚美歌 讚美歌 I-545, 494, 542
礼拝後：高校生以上の集い

報告

- ・10日(日)の礼拝出席28名、子ども0、献金16,581円、高校生以上の集い：6名
- ・13日(水)祈り会I：9名(対面・リモート併用)II：4名
- ・15日(金)とよひら食堂：197食(教会前64、礼パプ51、留学生会館0、聖公会60、大通22、ボラ9名(0食))
- ・16日(土)キリスト教会の歴史：4名、

お知らせ *参加自粛のお願いを解除します

◎礼拝参加の自粛要請を解除します。礼拝プログラムは短縮形のままで続け、11月から使徒信条を追加するのみにします。礼拝のライブ配信は、教会外の方々の視聴もあり、コロナ状況にかかわらず今後も継続します。

◎「聖書素読の会」「高校生以上の集い」を再開。女性会・サマリヤ会は自粛を解除してそれぞれの判断で会合をもってください。

◎検温・消毒・マスク・距離・換気を行い、空気清浄機・CO2濃度感知器を稼働します。(再掲載)

- *次主日24日(日)札幌東部四教会講壇交換
河野行秀教師が説教を担当していただきます。稲生牧師は、森林公園教会にて説教を担当します。
- *同日、礼拝後に火災避難訓練を実施します。
- *10月25日(月)7:30 朝ごはん
- *10月26日(火)カルヴァン改革派研究所セミナー
- *10月31日(日)秋の大掃除[WAXがけ有]
- *11月3日(水・休)14:00～16:30 オンライン映画上映会「アリランの歌～オキナワからの証言～」
- *11月7日(日)子ども祝福式を礼拝に続き行います。
収穫感謝の餅つきは今年も見合わせますが、紅白大福をお土産に準備して皆でお祝いをいたします。